

様 式 A-39-2【作成上の注意】

研究代表者が、産前産後の休暇又は育児休業（以下、「育児休業等」という。）を取得することにより、交付申請の留保を希望する場合に作成すること。

【注意事項】

① 「課題番号」、「研究課題名」及び「交付予定額」欄は、交付内定通知に記載の課題番号、研究課題名、交付内定額をそれぞれ記入すること。

② 「研究開始（再開）予定年月日」は、育児休業等取得期間を終えて、当該補助事業を開始（再開）しようとする予定日を記入すること。

（例）育児休業等取得期間を終えると同時に、当該補助事業に復帰しようとする場合

- ・ 育児休業等の開始予定年月日及び終了予定年月日
平成30年 5月 1日 ～ 平成31年 3月31日
- ・ 研究開始予定年月日
平成31年 4月 1日

（例）育児休業等取得期間を終えて、1カ月後に当該補助事業に復帰しようとする場合

- ・ 育児休業等の開始予定年月日及び終了予定年月日
平成30年 5月 1日 ～ 平成31年 3月31日
- ・ 研究開始予定年月日
平成31年 5月 1日

③ 「前年度留保・中断手続の有無」欄は、前年度に交付申請の留保・中断手続を行った場合には「有」、当該年度に初めて行う場合には「無」を選択すること。